

# 菅田中学校だより

2月号

創造の意気ここにあり

令和5年1月31日  
学校長 遠藤まり

学校ホームページ  
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>



「伝統的な言語文化」～書き初めと百人一首～

副校長 三藤 敏樹

新年を迎えて1か月が過ぎました。菅田中学校の各教室では恒例の「校内書き初め展」が行われ、冬休みの課題であった「書き初め」が展示されていました。国語科の学習指導要領では、たとえば第3学年の目標には「我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする」ことが挙げられています。

書き初めは、日本の伝統文化として、昔から伝わる習慣です。新年を迎え、新春を「寿ぐ」（意味と読みは調べてみてください）とともに、自分の決意や目標などを書写する行事で、中世半ばに始まり、江戸時代以降は寺子屋での教育を通じて広まりました。

家庭では、多くの場合正月2日の朝に、あらかじめ選んでおいた言葉を恵方（「恵方巻」の恵方ですね）に向かって座って書き、家族全員で新年を祝い思いを新たにしている行事として行われてきました。

正月15日には、正月飾りを燃やす火祭りの行事（「どんど焼き」「さいと焼き」「左義長」など地方によっていろいろな呼び方があります）が行われ、そこでは書き初めを火に投げ入れて、「炎が高く上がるほど書の腕が上達する」と言われていました。

私は、11月から3年生といっしょに国語の学習をしています。昨年末には書き初めに向けての毛筆書写を行ったあと「古今和歌集仮名序」を学び、年明けからは「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」のいわゆる三大和歌集を学んでいます。

12月には、紀貫之が書いた「古今和歌集」の「仮名序」を学習しました。

やまとうたは、人の心を種として、  
よろづの言の葉とぞなれりける。  
世の中ある人、ことわざ繁きものなれば、  
心に思ふことを、  
見るもの、聞くものにつけて、言ひ出せるなり。  
花に鳴く鶯（うぐひす）、水にすむ蛙（かはず）の声を聞けば、  
生きとし生けるもの、  
いづれか歌をよまざりける。  
力をも入れずして、天地（あめつち）を動かし、  
目に見えぬ鬼神をも、あはれと思はせ、  
男女の仲をも和らげ、  
猛き武士の心をも、慰むるは歌なり。



「三大和歌集」の学習を生かして百人一首に取り組む3年生

百人一首の「人は心も知らずふるさととは花ぞ昔の香にほひける」の歌で知られ、「古今和歌集」の選者の一人でもある紀貫之は、この「仮名序」の冒頭の部分で、和歌について「カひとつ入れず天地の神々の心を動かし、目に見えないもろもろの精霊たちをしみじみとさせ、男女の仲を親しいものとし、勇猛な武人の心をも、和らげるのが歌なのである」と説いています。現在、3年生の国語では、この和歌について、三つの和歌集から長歌一首、短歌十四首を学習しています。

お正月で和歌と言えば百人一首です。現在でも広く行われている「小倉百人一首」は、「新古今和歌集」の選者の一人である藤原定家が、小倉山にあった知人の山荘のふすまに書く歌を百首選んだことに由来します。一方、平安時代に貝に描いた絵や歌を合わせる「貝合（かいあわせ）」という遊びが、江戸時代に貝に和歌の上の句と下の句を書いて合わせる「歌貝」となり、室町時代後期にポルトガル人が伝えたカードゲームの「カルタ」とあわせて紙で作られた歌かるたが成立し、多くの人々に広まっていったものです。菅田中ではこのような伝統を踏まえて国語の授業で和歌を学ぶことに加え、各学年で百人一首大会を開催し、我が国の伝統的な言語文化に触れる機会としています。

新しき年の初めの初春の今日降る雪のいやしけ吉事

大伴家持

これは3年生の国語の教科書に掲載されている「万葉集」の最後の歌です。「新しい年の初めの、正月の今日降る雪のように、いよいよ重なれ、よいことが」というこの歌のとおり、今年がみなさんにとって素晴らしい一年になりますように。

## 2月予定表

完全下校 17:15

日にち	曜日	校時	行事
1	水	5	④⑤2年生百人一首大会 各種委員会15:05
2	木	6	
3	金	5	3年生学年末試験(5科)
4	土		
5	日		
6	月	6	放課後学び舎
7	火	6	
8	水	5	
9	木	6	代議員会15:50
10	金	6	公開授業 1,2年①~⑤ 3年①~③ 新入生保護者説明会15:00 私立一般入試
11	土		建国記念日
12	日		
13	月	6	放課後学び舎 3年生 事前指導終り次第下校 総下校15:10
14	火	5	テスト前質問 3年生特別時間割開始 共通選抜・特色検査
15	水	3	学年末試験 1年 国音美 2年 国英技家 総下校11:50
16	木	3	1年 理英技家 2年 理英音 総下校12:15
17	金	3	1, 2年 社数体
18	土		
19	日		
20	月	6	放課後学び舎 総下校15:20
21	火	6	
22	水	5	
23	木		天皇誕生日
24	金	6	
25	土		
26	日		
27	月	6	放課後学び舎 総下校15:20
28	火	6	合格発表

〈3月の主な予定〉

- 3月8日 第45回卒業証書授与式
- 3月17日 修学旅行保護者説明会
- 3月24日 修了式

スクールカウンセラー（杉沢 実佳先生）による相談（火曜日）

- 2月は、7日、13日、28日の予定です。
- 相談や面接の予約等は、本校職員または相談室直通電話（472-5438）まで。

### 2/10(金)に公開授業を予定しています

- 1, 2年生は1~5校時まで
- 3年生は1~3校時まで(私立一般入試のため午前授業)

当日の日程

- 1校時 9:00~9:45
- 2校時 9:55~10:40
- 3校時 10:50~11:35
- 昼食・昼休み
- 4校時 12:15~13:00
- 5校時 13:10~13:55

生徒たちの成長した姿をぜひご覧にいらしてください。

※6校時は新入生の保護者の方の参観時間としているため、その時間の参観はご遠慮ください。

### CO2モニターの設置について

横浜市立学校では、感染症対策の一環として教室の換気に努めています。令和5年1月10日(火)から、各クラスの場所や場面に応じて、効果的な換気を行うことができるよう、全市立学校、全クラスに二酸化炭素濃度が測定できるCO2モニターを設置しています。これにより「空気の見える化」が行われ、児童生徒の換気の実践や意識の向上を図り、安全・安心な学校環境につなげていきます。また、保護者の皆様にも安全・安心な学校環境を知っていただくきっかけとして、各校に設置するCO2モニターのうち4台をインターネットに接続し、全市立学校の二酸化炭素濃度等をWEBページに公表しています

### 菅田中ブロックは併設型小中一貫校

1月20日(金)に、菅田中学校で、ブロック小中学校授業研究会を行いました。コロナ禍前は、ブロックの教員が1校に集まり、その学校の授業を参観して話し合う研究会を継続して行ってきました。実際に授業を参観して話し合う形での実施は3年ぶりとなります。当日は、菅田中学校1年国語・音楽・保健体育の授業を公開しました。

<ねらい>

9年間育てる子ども像「取得した知識を活用して問題解決できる子」「互いに表現し合い、自分の考えを深める子」「自ら行動し、粘り強く取り組む子」を育てるための手立てについて考える。

<話し合われた内容>

- ・学習に対する安心感と意欲をより高めるために、1時間の学習の流れや単元の見通しを子どもがもつことができるにすることが大切である。
- ・学習内容に応じてICT機器を効果的に活用することで、子どもの意欲が高まっている。どの子も、機器を上手に活用していた。
- ・国語では、いろいろな教科書の同じ作品(物語)について、よりふさわしいと考える挿絵を選んでいた。これまでの「読むこと」の学習を生かし、選んだ挿絵について友達と交流していた。

- ・音楽では、教師が提示したサンプル音から興味を高め、アプリを活用して意欲的に音楽づくりに取り組んでいた。
- ・保健体育では、柔道の固め技からの逃げ方、返し方について、練習を通して考えていた。実際に動いて気付いたことをもとにグループで考えたり、考えたことを生かして粘り強く練習に取り組んだりしていた。

○卒業した子どもたちが真剣に学習に取り組む様子が見られ、嬉しかった。(小学校)

話し合われた内容を生かし、各校で授業改善に取り組んでいます。

また、令和7年度から実施予定の「独自教科」についての共通理解を行いました。

○教育委員会の指導主事による、横浜市の施策である「独自教科」についての説明

○共通理解した内容

教科名: 自分づくり科

内容: 自分づくり教育(キャリア教育)を中心とする

今後も、ブロックの児童・生徒のよりよい成長のために、3校で協力し合い、教育活動を進めていきます。



# 菅田中のGIGAスクール構想

情報担当 三橋直隆


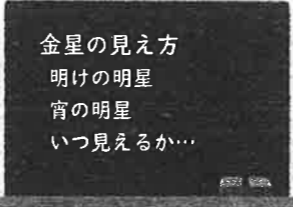


本校では、夏季休業より実施しておりました Chromebook の持ち帰り試行が1月27日(金)をもって終了いたしました。期間中、大きなトラブルが起こることもなく、円滑に活用を進めることができました。ご理解、ご協力をいただきありがとうございました。今後は、授業時間等を利用して更なる活用を行っていきます。また、AIドリルやデジタル教科書(英語・理科)をはじめとするICT教材は、各ご家庭の端末(スマートフォンやタブレット等)で利用することができます。今後もお活用ください。

横浜市では、コロナ不安やその他、様々な事情で学校に登校できない児童生徒が、自宅などで授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を「横浜どこでもスタディ」として各学校で行うことになりました。本校にもWEBカメラ等の機材が届き、取組の準備を進めているところです。

～誰一人取り残さない学びの機会を～

## 菅田中は「横浜どこでもスタディ」に取り組みます

### 【内容の例】

～CONTENTS～	
例1	<p>オンラインで授業に参加！ 生徒と学校が調整をして、より効果的な場面や時間を選んで実施します。</p> 
例2	<p>配付資料のアップや課題の提出！ 授業などでデジタル(Classroomなど)で配布された資料や、デジタルで共有された作品や成果物は、家庭などから確認することができます。同様に、デジタルで出された課題は家庭などから提出することができます。*デジタルでの配布、課題提出を行った授業に限ります。</p> 
例3	<p>AIドリルに挑戦！ 学校の授業で学習している範囲の課題を、AIドリル「モノグサ」に配信しています。</p> 
例4	<p>保護者生徒とのICTを利用したつながり！ 先生とオンラインでやり取りができます。生徒の「学びたい」気持ちに応えます。</p> 

以上の内容は、現在可能な活動の例です。生徒一人一人に合った支援を目指して、実施内容を相談していきたいと思えます。お子様がどんな状況にあっても、学びへの第一歩を踏み出せるよう、まずは学校までご相談ください。

## 小中乗り入れ授業(外国語)の報告

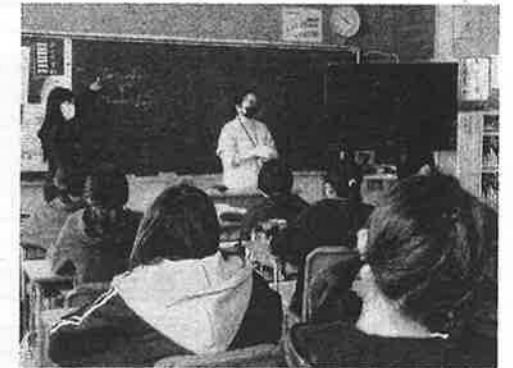
小中乗り入れ担当 鹿内 悠子

### ①乗り入れ授業とは？

菅田中学校は、併設型小中一貫校の取組の一つとして、5年前から校区内にある小学校に外国語科で乗り入れ授業を行っています。小6の外国語授業は週2時間あり、中学の乗り入れ担当は全ての授業を担当しています。

### ②めあては？

4月の下旬から活動を開始し、小学校英語のカリキュラムに則りながら、菅田中ブロック独自で身につけてもらいたい「書く」活動を少しずつ取り入れています。年間のめあてとしては、「多くの英語に親しむ」「英語を用いて積極的に表現する姿勢を養う」「アルファベットとローマ字(ヘボン式)を理解し、自分や友達の名前が読めて書ける」ようになることを目指しています。また、小中のつながりを深め、安心して入学できる環境を整えることも大切な役割と考えています。



### ③どんなことをしているの？

授業の初めは Song&Chants から入り、毎回の授業で練習をしています。その結果、その単元のキーセンテンスを無理なく身につけ、発表に生かすことができました。また、繰り返し歌っていくことでリスニング力が向上し、多くの児童が教科書やテスト問題のリスニングをおおむね聞き取ることができるようになりました。  
会話表現では、スモールトークを導入し、各ユニットの発表に向けて少しずつ英語表現を身につけ、練習を積み重ねてからスピーチを行っています。自信をもって発表に取り組めるよう工夫をしています。

### ④今年度の6年生アンケートより抜粋(1月中旬実施)

- ・英語に興味を持てたし、色んなことが分かりました。
- ・中学に行ったらこれが大事だよ、とか言ってくれるので、どこを中心に覚えればいいのか分かった。
- ・毎回、日付を言う時単語を書いたりするから、日付の単語が分かった。
- ・中学に行っても知ってる先生がいると安心する。
- ・スピーチのコツとか細かく教えてくれるので、それを生かしてスピーチが得意になりました。
- ・最初、英語はあまり好きじゃなかったけど、中学の先生になって一生懸命頑張ろうと思った。
- ・5年生からアルファベットを意識したけど、6年生からは4線を意識してって言われて上手に書けるようになった。
- ・中学校の英語が少し不安だったけど、自信ができました。
- ・中学の先生だから前より難しいのかなって思ったけど、やってみたら意外と簡単で楽しかった。
- ・ミニゲームしたりスピーチをみんなで発表し合ったりして楽しかった!難しかったけど何とかできた。
- ・英語を声に出すのが苦手だったけど、苦手からふつうになった。
- ・中学に行っても英語を頑張って、将来は外国に行って外国人としゃべってみたいです。
- ・自分から、もっといろんな英語を話してみたいと思いました。中学でも頑張って勉強していきたいです。
- ・5年生よりも英語が本格的になった。分かるようになったし、この一年間、すごく成長したと思いました。